

入学式

Matsuda

～松田町議会だより

No.202
2016.5.15



今日から小学生!

寄小学校入学式 4/5(火)

第1回定例会の概要・予算質疑	2
条例の改正・土地等の取得など	5
議員発議・同意・選挙	6
議案審議結果一覧	7
一般質問	8

議員行政視察報告	12
まちづくり意見交換会概要	14
議会報告会・第1回臨時会	15
第2回臨時会の概要	
住みやすい町を目指して㉕	16

平成28年度 9会計の予算を可決 総額76億1,495万円

前年度対比
2億3,365万円の増

平成28年度の一般会計及び特別会計の予算が提案され、3月4日と10日に活発な審議が行われました。このうち一般会計予算は、議員6名で構成する予算審査特別委員会を設置し、そこに付託して9日に教育長以下、参事・課長職から係長職の職員40余名出席のもと、詳細に審査が行われました。この審査結果については、10日に特別委員会報告(4ページ参照)が行われ、採決の結果賛成全員で可決されました。

一方、8特別会計予算については、質疑の後、採決が行われ、すべて原案どおり可決されました。

以上では、一般会計予算の主な質疑内容の概要について、掲載(2~4ページ参照)します。

第1回定例会

3月1日(火)~3月10日(木)

第1日目 (1日) 一般質問6人(6件)

第2日目 (2日) 一般質問3人(3件)

第3日目 (3日) 町長提出議案(条例・補正予算等)18件を審議。

第4日目 (4日) 平成28年度一般会計予算の説明・質疑後、予算審査

最終日は、産業厚生常任委員会報告、発議1件、平成28年度一般会計予算審査特別委員会報告、国民健康保険事業特別会計他7特別会計を審議、同意案件3件、

選挙2件、各種報告などが行われ閉会した。

主な審議状況は、次のとおりです。

一般会計予算の主な質疑

方

針

質 町立幼稚園の入園料、保育料が40年間変更ないが、今後の考え方はどうなっているのか。

答 (教育課)

開園以来、値上げをしていない。現在、子ども、子育て支援新制度の法律に基づき階層別に徴収している。国では、貧困対策として、多子世帯の軽減といった動向もあり、注視しながら検討する。

増の要因がない単なる建替には、補助金がつかないので、起債を75%とし一般財源が5億円と考え、31年度中の建設着手を目標としている。

質 現在の松田小学校を単独で建替るのではなく小中一貫校という考え方で、同一敷地に建設といふ義務教育施設整備構想を検討されているのか。

小中一貫校となつた場合、空いた土地を定住促進のために利用する考えはどうか。

質 現在の松田小学校を

建設を計画している。28年度末の基金は、2億5千万円とのことだが、どのような考えて進めているのか。

答 (教育課)

今回の学校あり方検討会のアンケート結果を踏まえて、小中別々でいくのか、小中一貫校を建てるのか、空いた土地の有効活用も考え方検討していく。子どもたちが勉強する場として、将来的に魅

答 (教育課)

開成南小学校を参考に約20億円ぐらいの建設費を見込んでいる。児童数

力ある学校づくり、校舎づくりができるように進めていきたい。

質 4月時点の保育所の待機児童はどのくらいか。また、保育所の待機児童と幼稚園の預かり保育の関係はどうなっているのか。

答 (子育て健康課)

待機児童は7口で、松

田さくら保育園は、137名を受け入れた。その中で限界もあるので、3歳・4歳・5歳児については、今後、幼稚園を希望される方には、延長保

育を行い対応していきたい。

質 同報無線のアナログは、もう使われなくなるが、どうされるのか。

答 (安全防災担当室)

アナログの使用は、平成34年11月までが期限となっている。デジタル化も検討しているが、新しい手法も考えていいく。

質 税収が減り続けるなか、即効性のある対策として、狭い道や未利用地に道路を作り、人口増を図る必要がある。消防第

2分団詰所から砂利線跡

地に抜ける家ノ河原道路計画について、どのように考えているのか。

質 (まちづくり課)

平成28年度に用地買収費を計上している。その後、幅員4・5m、延長

約100mの町道として整備していきたい。砂利線跡地周辺は、宅地造成できる土地があるので、民間企業との連携により、道路と宅地の整備を検討している。

收支・財政

質 健康福祉センター管

答 (総務課)

町税が、昨年比500万円のマイナス。人口の減少の下げ幅が落ち着いたと言わ�るが、町民税はどうなるのか。

質 健康福祉センター管

答 (総務課)

本台帳人口は、この1年で0・6%減少、26年から27年が0・8%、25年から26年が1・0%の減少。28年度の均等割人数として、40名の減少、所得割については49名の減少として計上した。

質 平成26年度の機構改革のとき、31年度までの

人件費を想定したが、28年度はどのくらいになるのか。

質 特産品開発補助金60

質 健康福祉センター管

答 (総務課)

は、昨年より200万円程増額されているが、その理由は何か。

質 (福祉課)

新たに自家発電機の定期点検を行うため、施設設備の保守管理費が増額された。また、入浴施設の券売機が修理不能になり、新たなリース料が増額となつた。

質 平成27年度の特定不

地に抜ける家ノ河原道路計画について、どのように考えているのか。

質 (まちづくり課)

平成28年度に用地買収費を計上している。その後、幅員4・5m、延長



福祉の拠点 健康福祉センター

質 平成27年度の特定不

務負担行為で700万円

質 (子育て健康課)

不妊治療費は、2月末時点での延べ4件の申請があり、48万7600円

で、3件は出産に結び付

いている。不育症治療

は、厚生労働省の研究を

考慮に入れ、1件ないし

2件で、上限30万円での

予算を考えている。

質 駅周辺のまちづくり

基本構想が、3年間の債

条例の改正・ 土地等の取得など

土地等の取得など

並びに事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例

- 松田町行政手続条例等の一部を改正する条例 行政不服審査法等の施行に伴い、条文の整理をするもの。

- 松田町職員定数条例の一部を改正する条例

一部を改正する条例
地方公務員災害補償法施行令の一部を改正する政令の施行に伴い、年金の調整率を改正するもの。

- 松田町介護保険条例の一部を改正する条例

一部を改正する条例
行政手続きにおける特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律等の公布に伴い、条文の整理をするもの。

- 松田町職員の勤務時間、休暇等に関する条例 及び松田町人事行政の運営等の状況の公表に関する条例の一部を改正する条例

地方公務員法及び地方独立行政法の一部を改正する法律の施行に伴い、条文の整理をするもの。

- 松田町議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の



松田幼稚園で預かり保育実施中

- 松田町指定地域密着型サービスの事業者による指定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律等の公布に伴い、条文の整理をするもの。

- 松田町指定居宅サービス等の事業者の指定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律等の公布に伴い、条文の整理をするもの。

- 松田町立幼稚園保育料等の徴収に関する条例の一部を改正する条例

町立幼稚園の預かり保育の時間延長に伴い、預かり保育料及び納付期限を改正するものです。

- 松田町消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例

行政不服審査法及び非常勤消防団員等に係る損害補償の基準を定める政令の一部改正に伴い、条文の整理をするもの。

以上2件は、指定居宅サービス等の事業者の指定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律等の公布に伴い、条文の整理をするもの。

以上2件は、指定居宅サービス等の事業者の指定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律等の公布に伴い、条文の整理をするもの。

以上2件は、指定居宅サービス等の事業者の指定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律等の公布に伴い、条文の整理をするもの。

以上2件は、指定居宅サービス等の事業者の指定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律等の公布に伴い、条文の整理をするもの。



改良事業が予定される町道19-6号線
(店屋場地区)

● 松田町職員の公益的法人等への派遣等に関する条例の一部を改正する条例
職員を派遣することができる団体として、松田町シルバー人材センターを追加するため改正をするものです。

- 土地等の取得について

町屋地区の旧松田土木事務所等の県有地(6697・26m²)及び付属建物を、1億9863万2625円で取得するために議会の議決を得るもの。

- 松田町道路線の変更について

町道19-6号線道路改

良事業の実施により、同路線の終点を変更するもの。

- 松田町道路線の変更について

町道19-6号線道路改良事業の実施により、同路線の終点を変更するもの。



● 議決により取得した旧松田土木事務所と旧警察官舎の県有地

陳情・議員發議

●国に対し消費税増税を中止する意見書の提出を求める陳情書

となりました。実施時期を慎重に判断し、景気が回復するまで「消費税率

10%への引き上げ延期を
求める意見書」の動議が
議員より出され、発議第
1号として可決し、意見
書を左記のとおり、提出
することになりました。

たため、次の方が推薦同
意されました。

長江 次の方が選任同意されました。

審議の結果

人事案件の同意

●人権擁護委員の推薦について

平成28年1月31日をもつて委員に欠員が生じ

●福井県の選出にひいて

●選舉管理委員會委員及

平成28年3月31日を

消費税率10%への引き上げ延期を求める意見書

平成26年4月1日、5%から8%への消費税率引き上げで経済への影響は「想定外」に大きく、中小企業者は消費税増税の影響から何とか切り抜けようと懸命である。

また、多くの町民はアベノミクスの恩恵どころか、物価上昇・収入減・社会保障削減の三重苦を強いられている。消費税導入当初は、社会保障の財源とすることが議論されていたが現在は不透明となっている。

一方、中国経済の減速・最近の円高傾向・マイナス金利政策の導入・TPP交渉合意による乳製品を初めとする農林水産業への影響など、先行き不透明な状況のなか、消費税引き上げに必要な経済状況を作り出している環境にない。この状況下において、平成29年4月1日の消費税率10%への引き上げは、さらなる経済の減速を招く可能性が高いと思われる。

よって、消費税の社会保障の目的税化を明確にするとともに、町民の切実な声を受け止め、実施時期は慎重に判断すべきであり景気回復を待って、消費税率10%への引き上げを行うよう強く要望する。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成28年3月10日

神奈川県足柄上郡松田町議会

衆議院議長・參議院議長
内閣總理大臣・財務大臣 } 殿

●松田町外三ヶ町組合 会議員の選挙について

松田町外三ヶ町組合とは

松田町・山北町・開成町・大井町の4町で、14名の組合議員で構成され、組合長は、山北町長を充てている。寄(山北境)から山北町の高松地内の共有林野を約123万m²管理している。

選挙結果について

●選挙管理委員会委員及び同補充員の選挙について
平成28年3月31日をもって委員の任期が満了するため選挙を行い、次の方方が指名推薦により当選されました。

平成28年3月31日をもつて議員の任期が満了するため選挙を行い、次の方が指名推薦により当選されました。

審議の結果

議案審議結果一覧

第1回定例会(3月議会)

○…賛成 ●…反対 可…可決 否…否決 同…同意

議案等番号	議案名(議席順) 議案等	審議結果	平野由里子	田代実	南雲まさ子	中野博	飯田一	利根川茂	小澤啓司	石内浩	齋藤浩永	鈴木眞徳	大館秀孝
			平野由里子	田代実	南雲まさ子	中野博	飯田一	利根川茂	小澤啓司	石内浩	齋藤浩永	鈴木眞徳	大館秀孝
議案 5	松田町行政手続条例等の一部を改正する条例	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
6	松田町職員定数条例の一部を改正する条例	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
7	松田町職員の勤務時間、休暇等に関する条例及び松田町人事行政の運営等の状況の公表に関する条例の一部を改正する条例	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
8	松田町議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部を改正する条例	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
9	松田町介護保険条例の一部を改正する条例	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
10	松田町指定地域密着型サービスの事業者の指定並びに事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
11	松田町指定地域密着型介護予防サービスの事業者の指定並びに事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
12	松田町立幼稚園保育料等の徴収に関する条例の一部を改正する条例	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
13	松田町消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
14	東北地方太平洋沖地震による被災者に対する支援に関する条例の一部を改正する条例	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
15	行政不服審査会の事務の委託に関する協議について	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
16	松田町町道路線の変更について	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
17	平成27年度松田町一般会計補正予算(第6号)	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
18	平成27年度松田町国民健康保険事業特別会計補正予算(第4号)	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
19	平成27年度松田町介護保険事業特別会計補正予算(第4号)	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
20	平成27年度松田町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
21	平成28年度松田町一般会計予算(予算審査特別委員会報告)	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
22	平成28年度松田町国民健康保険事業特別会計予算	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
23	平成28年度松田町国民健康保険診療所事業特別会計予算	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
24	平成28年度松田町上水道事業会計予算	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
25	平成28年度松田町寄簡易水道事業特別会計予算	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
26	平成28年度松田町下水道事業特別会計予算	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
27	平成28年度松田町介護保険事業特別会計予算	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
28	平成28年度松田町用地取得特別会計予算	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
29	平成28年度松田町後期高齢者医療特別会計予算	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
30	松田町職員の公益的法人等への派遣等に関する条例の一部を改正する条例	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
31	土地等の取得について	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
陳情 1	国に対して消費税増税を中止する意見書の提出を求める陳情書	否	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
発議 1	消費税率10%への引き上げ延期を求める意見書について	可	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○
同意 1	人権擁護委員の推薦について	同	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
2	教育委員会委員の任命について	同	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
3	副町長の選任について	同	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

* 井上栄一議長は、採決に加わらない。

* 発議…議員が意見書や条例等の議案を提案すること。

一般質問

ここが聞きたい

町長等の執行者に対して、町政全般の事務事業等の執行状況や政策方針などを聞くことが一般質問です。

臨時財政対策債とは

地方交付税の財源が不足した場合に、その補てんとして自治体が地方債（借金）を発行できる制度。償還に要する費用は、後年度の地方交付税で措置される。

本山町長の任期は、あと1年とのヶ月となり、平成25年9月の選挙で町民に対し公約されたものについて、その実現された状況をお伺いします。

(1) 人口減少に歯止めをかけると言われたが、その結果はどうか。

(2) 臨時財政対策債など借金額を増加させないと言わされたが？

(3) スマート・エコタウン構想は、どの程度進んでいるのか。



質問者
利根川 茂 議員

公約は着実に進めます

回答（町長）



選挙公約の実現を問う！

(1) 最新の国勢調査では、平成7年の人口ピーク時の13270人よりも2100人の減少となつてゐるが、平成27年中の社会増減では、1人のみの減となつてゐる。一時より人口減に歯止めがかかるたとの認識をしている。

(2) 再燃化してきた合併問題についての考えは？

松田町の将来のために

回答（町長）

(1) 人口減と少子高齢化、全国の自治体が多くわが町でも扶助費や義務的経費も高止まりし、財政の硬直化を招いています。国が地方創生の一環として、平成27年度中に求めていた人口ビジョンと総合戦略の策定は？

(2) 「松田ブランド認定委員会」について。

(3) 「松田ブランド認定



質問者
中野 博 議員

地方創生に向けた町の取り組みを問う

きく下回り、6・8%になつてゐる。(1) 松田町の人口ビジョンは、平成52年の人口1万人を目標とし、総合戦略の中で少子化対策として、保育「一子への対応・再生可能エネルギー導入等々、平成29年度に計画・一部事業化に向けて更なる推進を図つてまいります。

(2) 臨時財政対策債などかけは、5年連続下回りがあり、公債比率も国が定める基準の25%を大進めていく。

(3) 小水力・太陽光等の発電や、バイオマスなど再生可能エネルギー導入等々、平成29年度に計画・一部事業化に向けて更なる推進を図つてまいります。

きく下回り、6・8%になつてゐる。(1) 松田町の人口ビジョンは、平成52年の人口1万人を目標とし、総合戦略の中で少子化対策として、保育「一子への対応・再生可能エネルギー導入等々、平成29年度に計画・一部事業化に向けて更なる推進を図つてまいります。

(2) 小水力・太陽光等の発電や、バイオマスなど再生可能エネルギー導入等々、平成29年度に計画・一部事業化に向けて更なる推進を図つてまいります。

(3) 小水力・太陽光等の発電や、バイオマスなど再生可能エネルギー導入等々、平成29年度に計画・一部事業化に向けて更なる推進を図つてまいります。

きく下回り、6・8%になつてゐる。(1) 松田町の人口ビジョンは、平成52年の人口1万人を目標とし、総合戦略の中で少子化対策として、保育「一子への対応・再生可能エネルギー導入等々、平成29年度に計画・一部事業化に向けて更なる推進を図つてまいります。

(2) 小水力・太陽光等の発電や、バイオマスなど再生可能エネルギー導入等々、平成29年度に計画・一部事業化に向けて更なる推進を図つてまいります。

(3) 小水力・太陽光等の発電や、バイオマスなど再生可能エネルギー導入等々、平成29年度に計画・一部事業化に向けて更なる推進を図つてまいります。

高齢者福祉施策の見直しについて



質問者
鈴木 真徳 議員

町では、小児医療の助成や高齢者に対して手厚い施策が数多く展開され、多くの町民が恩恵を受けていることと思います。

そこで、平成28年度予算編成にあたりお聞きします。

(1) 高齢者のインフルエンザワクチンの接種には1000円の自己負担ですが、近隣市町では1500円の自己負担をしているようです。

松田町においても自己負担を増額しても、その財源を何か別の福祉施策に充當するようなお考えはありませんか。

(2) 敬老祝金が平成27年度予算で417万5千円が計上されています。敬

時期をみて政策決定していく
回答（町長）



老会で70歳以上の方に段階的に渡されていけるとは思いますが、元気なお年寄りが増えているのではと考えます。この敬老祝金を見直すお考えはありますか。

町は、平成26年に自己負担1500円としている。松田町は、1000円のままである。ワクチン単価が約600円値上がりをしたので、将来を見据えて、自己負担金額の改定を検討していきたい。

(2) 平成27年度の実績では、373万円を支出した。今後の敬老祝金の支定をしていきたい。

管内の1市4町をはじめ近隣市町を参考にしながら、時期を見据え、皆様にお諮りして、政策決定をしていきたい。

これまでの本山町政はソフト事業が多く、まちづくりの礎となる投資的事業が少ないようです。平成28年度以降の予算で、松田町の未来に繋がる次の事業についてお伺いします。

業

（1）インフルエンザワクチンの接種率は、ここ数年47%前後で推移し、昨年は1638人で今年度は1700人を上回る見込みである。他の1市4

（1）インフルエンザワクチンの接種率は、ここ数年47%前後で推移し、昨年は1638人で今年度は1700人を上回る見込みである。他の1市4

（1）新松田駅南口駅前広場整備事業と街中への接道

（2）砂利線跡地の整備事

前向きに投資的事業を推進する
回答（町長）



昨日10月6日の全員協議会で今後の事業計画が示されました。年度別事業計画とその財源・完成年度が不明瞭でしたので詳細説明を。

業

（1）事業進捗率は60%、平成32年度を完成目標に、事業費の55%は国の補助金を活用し、残りは

（2）宅地造成と道路整備を一貫的に整備する事業として捉え、官民連携の「公募型プロポーザル手法」などの採用を検討しているので、9月頃までに計画概要を示したい。

この計画についても、地域の方のご理解をいただきながら、事業を進めていきたい。



道路整備計画は優先度を考慮し対応（仲町屋町営住宅地内の町道）

「まち・ひと・じー」と創生法の展開について



質問者
石内 浩 議員

自主防災リーダー研修

先ず「ひと」をつくる。「ひと」が「じー」と「まち」をつくり、「じー」が「ひと」を呼ぶ。この循環を地方に確立させる計画で、一極集中化のツケを地方にとも思えるが、この機会を生かすべき町の取り組みを伺いたい。

(1) 「住民参加」(ボランティア活動)の数と人員、担当窓口等の他町比較、自治会のリーダー育成とあり方、行政パートナー等の導入は。

行政と地域活動のサポートに
回答（町長）



(2) 「じー」の面では、資産を負担とする公会計の導入予定だが、設備更新・減価償却の扱いとその取り組みは。

(3) 現世代対象の研鑽（生涯学習）と次世代への投資計画など、上記「創生法」に基づいた「地域の力」を生むための下支えとなる「種蒔き」計画は。

国のアベノミクス効果が、中央・大企業のみに感じられ、地方自治体では厳しさが増す昨今、本町の来年度予算は、歳入では町税0・1%微増、地方交付税1・8%減、

当町のボランティア

町債20・4%増。また歳出では人口減少が続く中、定住化に向けた基礎的プロジェクト対策業務、重点的まちづくり戦略事業で都市マスターープラン策定業務等計上され

は46団体、844名。他町では、担当部署の違い等で把握が難しく、その特徴なども確認に時間がなかつた。自治会活動は、地域での自主的活動を尊重し、自治会長を行政協力委員に委嘱し、また地域集会施設の指定管理者にお願いしている。防災リーダー育成講座など実施し、多くの方が参加している。

(2) 施設の更新計画の優先順位づけなどや、債務をはじめ多くの方が、活動の担い手としての、仕組みづくりが必要と考えている。子どもの居場所づくりの寺小屋教室も続け、次世代の地域力アップにつなげたい。

(3) 生涯学習として、年5回町民大学を継続していくが、今後は、高齢者をはじめ多くの方が、活動の担い手としての、仕組みづくりが必要と考えている。子どもの居場所づくりの寺小屋教室も続け、次世代の地域力アップにつなげたい。

平成28年度予算について問う



質問者
大館 秀孝 議員

末永く発展・繁栄する予算編成とした

回答（町長）



るなど、大変ご苦労された事だと思いますが、来年度予算案から本町の将来像がどのように読み取れるのかお伺いいたします。

本町の財政は、町税等の一般財源に若干の増加は見込まれるもの、社会保障経費の増大、安心して子どもを産み育てる地域づくり、ICTを活

用した教育環境充実、公共施設の大規模修繕、JR松田駅や新松田駅周辺整備事業など、町の発展に寄与する将来的な財政需要を考慮すると、更に厳しい財政運営が続くと予想される。

第5次総合計画での町の将来像として「緑と清流のまち、ゆとりを楽しむ、きらめく松田」となるよう、アクションプログラムの中で数々の施策を示して実行しています

が、松田町が末永く発展・繁栄するためには、一番重要なことは、まず、定住人口の増加と考えており、来年度の予算編成



水位計や電動弁を改修する宮下水源地

本町の介護予防対策の拡充について問う



質問者
南雲 まさ子 議員

を伺います。

介護予防対策を拡充

回答（町長）



- 現行の松田町総合計画では、地域包括支援センターにおける相談機能等を充実させ、介護予防事業、介護予防ケアマネジメント等を包括的に展開し、小さな町ならではの目のいき届くサービスの提供を進める必要があり、また介護を必要としない高齢者の割合を平成26年度85・8%から平成30年度目標89%とする掲げられています。
- (1) この目標に向けての各種事業は、どの程度の成果が得られているのでしょうか。また目標達成は可能でしょうか。
- (2) 今後、新たな介護予防対策の事業を加えて拡充することも必要であると思いますが、町の考え方でいい。



質問者
飯田 一 議員

子育て世代定住化のための住宅施策の推進を

- 少子高齢化が進み松田町全体の人口は減少し、歯止めのかからない現象が続いている。町の住宅施策についてお伺いいたします。
- 「松田町総合戦略」の基本的方向にあるように、「住まいづくり」、
- (1) 松田町第5次総合計画では、町営住宅建設に
- (2) 平成28年度は新たに「民間賃貸住宅家賃補助事業」に取り組む予定であります。今後の展開はどのようにお考えですか。

町として取り組む介護予防事業は、火曜体操会をはじめ、多くの方が参加される事業に育つた。しかし、地域包括支援センターのマンパワーの不足もあり、既に手掛けている事業を体系的に

機能させることができていらない状況が推察できる。今後は、事業を地域での介護予防に資する活動に十分結びつけが必要性があり、地域での自主的な実践につがるよう配慮したい。



介護予防に励む火曜体操会の参加者

くあるようですが、程度の良い住宅を借り上げて子育て世代の方に安く貸す、あるいは不動産業者を通じて借りた人は助成金を支給する、などのお考えはありませんか。

（2）町内の空き家も数多くあるようですが、程度の良い住宅を借り上げて子育て世代の方に安く貸す、あるいは不動産業者を通じて借りた人は助成金を支給する、などのお考えはありませんか。



回答（町長）

- ついて27年度実施設計、28年度から建設予定となります。今後の展開はどういうことかお答えください。
- （2）平成28年度は新たに「民間賃貸住宅家賃補助事業」に取り組む予定であります。この制度は、「空家バンク」の拡充や民間賃貸住宅に居住する子育て世代などの家賃負担を軽減することにより、減少傾向にある若い世代の定住促進を図りたい。
- 若い世代が、地域の行事や催事に積極的に参加し、かかわり続けることで、松田町を「ふるさと」として、定住していくことをめざして、定住してい

ただくよう推進していく。

PFI手法とは

PFIとは、公共施設等の建設、維持管理、運営等を民間の資金、経営能力及び技術的能力を活用して行う手法で、事業コストの削減、より質の高い公共サービスの提供を目指すことができる。

ついて27年度実施設計、28年度から建設予定となつています。今後の展開はどういうことかお答えください。

（2）平成28年度は新たに「民間賃貸住宅家賃補助事業」に取り組む予定であります。この制度は、「空家バンク」の拡充や民間賃貸住宅に居住する子育て世代などの家賃負担を軽減することにより、減少傾向にある若い世代の定住促進を図りたい。

若い世代が、地域の行事や催事に積極的に参加し、かかわり続けることで、松田町を「ふるさと」として、定住していくことをめざして、定住してい

会議の公開は協働の まちづくりの第一歩



質問者
平野 由里子 議員

役場内の各課で委員会や審議会などの会議が数多く開かれていますが、その公開性について伺います。本山町長は協働のまちづくりを提唱し、また住民自治基本条例の制定を公約としています。

それらの前提是、情報の共有と課題の共通認識であると考えます。そこで、以下の点を伺います。

(1) 各種会議のうち、傍聴可否の判断はどのように基準でなされていますか。またその割合は?

(2) 傍聴可能なものの日程の告知は、どのような方法がとられていますか。またそれは課単独ですか。またそれは課単独でおこなっていますか。総務課でまとめておこなっていますか。

A 委員会等の傍聴 を前向きに 検討する

回答(町長)

(3) 可能な限り傍聴を認め、その日程をわかりやすく告知するために、ホームページを活用してはいかがですか。

(1) 現在42の委員会等のうち傍聴に関する規定があるのは、教育委員会、教育総合会議、新松田駅周辺地域まちづくり協議会の3つのみで7%である。個人情報を扱う委員会などは傍聴に適さない



役場玄関横に設置の掲示場

(2) 告知は、庁舎前の掲示板に告示や広報の紙面を使って所管課が行っている。

(3) 今後は、町ホームページでリアルタイムに情報発信する。行政の「見える化」を推進し、町民との問題意識の共有化を図るためにも、わかりやすい情報発信を検討する。



森町議会の会議室にて

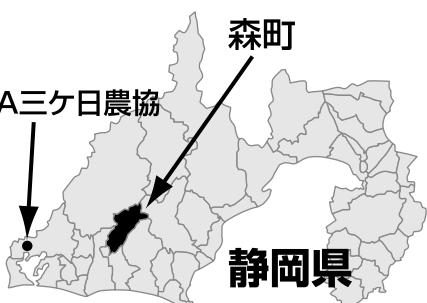
ふるさと納税の原型

議員行政視察報告 不断の努力がもたらす町への関心

平成28年2月22日(月)~23日(火)

参加議員 鈴木眞徳・石内 浩・利根川茂・中野 博

南雲まさ子・井上栄一・田代 実・平野由里子



ふるさと納税の原型
静岡県森町は、松田と同じく温暖な中山間地で人口は1万9千人ほど。平成27年度は20件で600万円以上。理由としては、返礼品競争とは無縁の本来の「寄付」の文化が生きている。主に町の出身者で篤志家の方から、毎年のように寄付がある。

JA三ヶ日農協も開催。28年度の報告会は、議員各自が地域で報告会をやる前提で、議会全体の報告会のやり方を検討中のこと。常に「開かれた議会」を目指して努力する姿勢は大変勉強になった。

なお、JA三ヶ日農業協同組合へミカソについての視察もいたしましたが、紙面の関係で省略させていただきます。

(記・平野由里子)

きめ細かい議会報告会

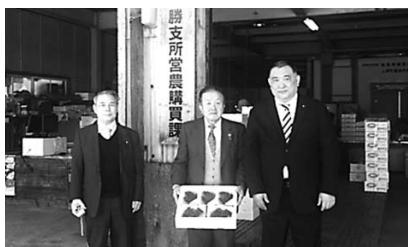
議会報告会について

は、平成24年度から始まり、予算承認後の5~6月に町内の全6地区を回って開催。参加者数は27年度延べ165人。準備では、日時と場所について町内会長連絡会との調整を重視。重要な意見は、全議員参加の「行政問題研究会」で月2回研究討議する。議会報告会が「報告の場」だけでなく、地域からの問題を吸収する場にもなっています。

では、日時と場所について町内会長連絡会との調整を重視。重要な意見は、全議員参加の「行政問題研究会」で月2回研究討議する。議会報告会が「報告の場」だけでなく、地域からの問題を吸収する場にもなっています。

26年度からは、11月に歴史ある町出身とする方が多く隣で事業をする方が多く、繋がりがあること、歴史ある町出身と言う誇りをもつている方が多いことがあります。町を出ても比較的近隣で事業をする方が多く、心を育てる事はもちろん大切だが、エリヤ全体が豊かになることが、人口や富の一方向的流出を和らげると思う。

（記・平野由里子）



JA東とくしま上勝支所にて

四国内にある徳島県上勝町・徳島県神山町・香川県小豆島町を訪れてみました。上勝町は、人口1万

人で、高齢化による過疎化に直面している町です。ところが近年サテライトオフィス企業が進出し、人材が移住して、空き家を借りオフィスを作るなどして、先進的な過疎地域として注目を集めています。

この実現に向け4つの柱、「持続可能なまちづくり」を目指しています。

7千前後の町で、86%が山林の山深い地域に55の集落が点在しています。

林業中心の町で、特産品は、まだらで日本一の生産量で、高齢化による過疎化に直面している町です。

隣にある神山町は、農業中心の町で、特産品は、まだらで日本一の生産量で、高齢化による過疎化に直面している町です。ところが近年サテラ

イトオフィス企業が進

り、人材が移住して、空き家を借りオフィスを作

るなどして、先進的な過疎地域として注目を集めています。

香川県のオワーブの発祥の地で有名な小豆島町にあら小豆島オワーブ公園を訪ねてきました。

今、私たちの地域でもオーブを栽培する農家が何軒か現れ始めました。

松田氏が散在している。

「玉松会」は、玉松城落城400年を記念して、祖先の供養を全国に呼びかけ、昭和41年に55名で発足。毎年4月第一日曜日に例大祭、西国各地ゆかりの地を訪れるなどの活動を続けています。

平成7年には、発祥の地

「松田町」を訪れた時、

郷土の地形とそっくりな

ことに感銘している。事務局長の大村氏は、交流

次いでいます。実際現地

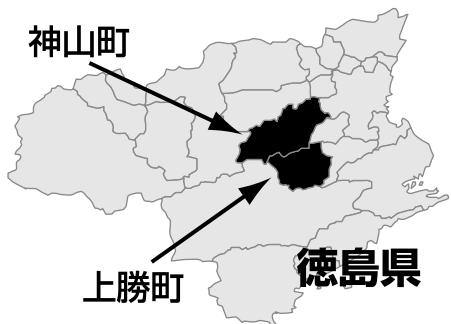
(記・齋藤永)

議員行政視察報告

「持続可能なまちづくり」を目指す

平成28年3月16日(水)～18日(金)

参加議員 大館秀孝・飯田一・齋藤永



に行き「葉っぱ」「シネマ」で有名な元気なおばあちゃんたちが、集荷場で機械によるスキヤニングしている場面や、一トを使っている場面は、いいなさい。この場面は、じつにお年寄りに見えない感じでした。



御津郷土歴史資料館にて

岡山県岡山市御津郷土歴史資料館で松田氏のルーツを探つてみた。

相模松田氏は、承久の

議員行政視察報告

松田氏のルーツと古い街のにぎわい探訪

平成28年3月24日(木)～25日(金)

参加議員 石内浩・小澤啓司



前松田氏と相模松田氏が一堂に会しての歴史再認識の必要性を痛感した。広島県福山市鞆の浦地区は、江戸時代のままの街並みと継承されてきた文化や習慣の中で、近所が助け合う「互助」の精神が自然と根付いています。地区人口約4千人、高齢化率45%の過疎地区ですが、高齢独居の方や認知症の方が一人ぼっちにならないよう、近所の仲間を交えて気軽に集まる居場所づくりが盛んです。地区人口約4千人、高齢化率45%の過疎地区ですが、高齢独居の方や認知症の方が一人ぼっちにならないよう、近所の仲間を交えて気軽に集まる居場所づくりが盛んです。

「地域密着型多機能ホーム」や「鞆の浦ふれあいサロ」を開設したり、地元商店を活用したり、地元商店を活用したり、「買い物支援網」を立ち上げるなど、地域共生の一環として実践している。鞆の浦ボランティア会の稻葉会長が「ここで生まれている以上、必要なことをやつていけるだけだ」と朴訥に語っていたことが印象に残った。

(記・小澤啓司)



まちづくり意見交換会

1月20日に、日頃から地域住民と町行政とのパイプ役として、ご尽力いただいている自治会長と町議会議員が一同に会し、住みよい松田町をつくるために、第5回意見交換会を、役場会議室で開催しました。

今回は、「災害弱者の対応について」をテーマに、町の対応状況報告、自治会の事例発表を交えて意見を交換しました。この意見交換会で出された内容について、議員間で整理をし、「まちづくりに関する要望書」としてまとめ、本山町長に提出しましたので、その概要について、お知らせします。

まちづくりに関する要望書(要旨)

- (1) 松田町避難所運営マニュアルの周知を図るとともに、体制づくりを推進すること。
- (2) 高齢者や心身障害児者と共に、乳幼児や妊婦も考慮した内容を防災計画に反映し、地域全体で災害弱者を守る自助・共助の風土づくりにも努めること。
- (3) 要支援者名簿の共有化や要支援者の移送方法の手順及び福祉施設との協力体制を確立すること。
- (4) 公共施設を対象とした耐震診断調査結果の公表とその結果を踏まえ改修・改築の整備計画を立て、安全で安心の公共施設とすること。

意見交換会は、司会を

利根川議会広報広聴常任委員会委員長が担当し進

めました。

まちづくり意見交換会は、平成26年2月12

日に開催した第3回意見交換会の結果を受けて、町に提出した要望書「要支援者名簿の共有化と避難に関する指針の策定」について、その後の進捗



遠藤 町屋
自治会長

自治会長の事例発表の要旨



山岸 虫沢田代
自治会長

要支援者名簿の取扱いに最初は苦慮した。名簿をそのまま知らせるわけにはいかないので、防災訓練の前に組長に、組にこのような方がいると知らせて活用している。民生委員等との普段からの情報交換が大切である。

民生委員が要支援者の名簿登載の時に、この情報が消防団や自治会長等にも行くことをお話しして、納得していただいたことで、人命が第一と考え、27年度より自治会役員に名簿を配付して活用している。

その後、意見交換を行い、避難所運営マニュアル、福祉施設への移送体制、乳幼児や妊婦への対応、町民の自助共助の風土づくり、公共施設の耐震診断の公表と結果を踏まえた改修や整備等の活動な意見が出されました。

その後、意見交換を行った。課長と福祉課長が報告を行い、2名の自治会長が取り組みの事例を発表しました。

議員による議会報告会を開催！

3月の第1回議会定例会で、平成28年度予算が可決され、新年度もスタートをしました。平成28年度予算の審議や土地等の取得について、議会報告会を下記のとおり開催しますので、ご近所お説明合わせのうえ、ご参加ください。この議会報告会は、議会改革の一環として、開かれた議会を目指すため、皆さんに直接お会いして報告するものですので、多数のご来場をお待ちしています。

開催日時 と会場	(1) 6月18日(土) 19時~20時30分 町民文化センター 1階展示ホール (2) 6月25日(土) 19時~20時30分 寄中学校屋内運動場 1階多目的ルーム
-------------	--

内 容 平成28年度予算や土地等の取得(旧松田土木事務所等の県有地や寄湯の沢地区の民有地)について、議会としてどのような視点で審議等を行ったかを説明後に質疑を行います。

申 込 み 開催日当日に直接会場にお越しください。

※詳しくは、議会事務局へ ☎84-1335

第1回臨時会

平成28年第1回臨時会は、2月12日(金)に開催され、審議内容は次のとあります。

- 専決処分の承認を求めることについて(平成27年度松田町一般会計補正予算(第4号)) 1月12日に専決処分した一般会計の補正予算
- 松田町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例の一部を改正するものです。
地方公務員法などの一部を改正する法律等の施行などにより職員の給与等を改正するものです。
- 平成27年度松田町一般会計補正予算(第5号) 松田町職員の給与に関する条例の一部改正に伴い、人件費の補正と特別会計への繰出金の補正をするものです。

審議の結果

第1回臨時会の審議結果は、下記のとおり可決されました。第2回臨時会の審議結果は、賛成全員で可決されました。

正予算(第3号)
一般被保険者療養給付費が増額となつたため、補正をするものです。

第2回臨時会

議案審議結果一覧

第1回臨時会(2月12日)

○…賛成 ●…反対 可…可決 否…否決 承…承認

議案等番号	議案名(議席順)	審議結果	平	野	由	里	子	田	代	南	雲	ま	さ	中	野	飯	利	根	川	小	澤	啓	司	石	内	浩	齋	藤	鈴	木	真	秀	大	館			
			議案名(議席順)	審議結果	平	野	由	里	子	田	代	南	雲	ま	さ	中	野	飯	利	根	川	小	澤	啓	司	石	内	浩	齋	藤	鈴	木	真	秀	大	館	
承認 1	専決処分の承認を求めるについて(平成27年度松田町一般会計補正予算(第4号))	承	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案 1	松田町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	
3	平成27年度松田町一般会計補正予算(第5号)	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
4	平成27年度松田町国民健康保険事業特別会計補正予算(第3号)	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※ 井上栄一議長は、採決に加わらない。 ※ 議案第2号 土地等の取得については、再考のため撤回されました。



住みやすい町を目指して…②5

“お善光寺様”と庶子の人々

松田町文化財保護委員会 副会長 鈴木 一行（城山在住）

庶子地区には、住民が厨子に安置された阿弥陀像を背負って家々を巡り、各家庭で供養するという風習があります。現在は小型の厨子・仏像を使用していますが、500年以上も続く伝統行事なのです。では、その辺の由来を。

最明寺は鎌倉時代に建立

現在、史跡として町指定文化財になっている松田

山の最明寺跡は、承久3
(1221)年に淨蓮房源
延が開いた寺院の跡です。
源延は源頼朝の御家人とな
った加藤景員の3男で、歴
代将軍の崇敬を受けた伊豆
の走湯権現(現、伊豆山神
社)の別当を務めた人物で
す。彼は長野の善光寺如来
を模して仏像を鑄造させ、
それを本尊として最明寺を
開きました。しかし戦国時
代初期の文明2(1470)

年、寺は大井町金子に移転してしまいます。そこで庶子の人々が檜で阿弥陀如来立像を造り、家々を巡回供養するようにしたというのです。

戦国時代、当地域は小田原北条氏の支配下にありました。北条氏は屈指の戦国大名でしたが、上杉謙

信や武田信玄などの侵攻を受け、最後は豊臣秀吉によって滅ぼされます。これらの戦争の最大の被害者は地域住民だったはず。敵方の雑兵に捕まって、奴隸として売られてしまった住民もいたかもしれません。そんなとき、庶子住民の心の支えとなつたのが

“お善光寺様”と呼ばれた阿弥陀如来立像だったのでしょう。

そして、「徳川の平和」の時代も、人々は仏像や最明寺跡を大切に守りました。「物言い坂」の伝説も、このような時期に育まれていったと思われます。

お善光寺様は町の指定文化財

筆者が庶子に移り住んで
40年余りになりますが、
お善光寺様は年に一度、我
が家にも訪れてくださいま
す。伝統を重んじながら

も、新参の私共を温かく迎えてくれた庶子の人々。
このような地に暮らしていることに誇りすら感じて
います。

なお、阿弥陀如来立像は町の文化財に指定され、現在は町民文化センターに展示されています。

※「住みやすい町を目指して」活動されている方や団体が、このコーナーに掲載を希望される場合は下段までご連絡ください。

皆さんの傍聴をお待ちしています! 第2回定例会は6月1日(水)

議会
広報
広聴
常任委員会
委員長
副委員長
委員
委員
委員
委員
員長
員員
員員
利根川
田代
茂実
井上栄一
南雲まさ子
中野
石内
浩博

桜が満開の中、かわいい新入生を迎えた小学校の入学式、初々しい中学の新入生を迎えた入学式が無事終りました。

3月議会定例会は、議員として初めての予算を審議する重要な議会でしたが、この議会だよりに掲載のとおり、順調に進めることができました。

今後とも、町民の皆様に開かれた議会、分かりやすい議会を目指し、議会報告会の実施などの、議会の改革に取り組んで参りますので、よろしくお願い申し上げます。

